



「災害への備え」

目的：習志野市の防止体制と自助・共助の醸成方法を紹介し
地域の防災・減災に繋げていただく。

- ① 市の災害への備え：備蓄と体制
- ② 家庭や町会・自主防災組織における災害への備え

令和6年9月7日（土）

危機管理監 亀崎 智裕



本日の内容

1. 防災・減災とは
2. 市の災害への備え
 - 1) 備蓄状況
 - 2) 平常時・災害時の体制
3. 家庭における備え
4. 町会等・自主防災組織における備え
5. 情報収集サイトの紹介
6. 質疑応答

1. 防災・減災とは

★地震や台風などの自然災害を未然に防ぐことは困難

1) 防災とは

災害が起こる前に対策を講じるアプローチ方法であり、災害を未然に防止し、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぎ、災害の復旧を図ること。

2) 減災とは

災害は、発生するものであるということを前提に、災害が発生した場合の被害を「最小限に」抑えるために行う準備のこと。

※災害での被害を最小限に抑えるためには、例え数十年間、災害が起こっていなくても、日常的に災害へ備えることが重要

3) 防災・減災のための事前対策（準備）

- ①耐震基準の確認
- ②避難場所・避難経路の確保
- ③家具の固定
- ④備蓄品の準備

※防災意識が低くなるのはなぜ？

災害からの時間経過や同規模の災害が起きていないこと。また、注意報や避難情報が頻繁で慣れてしまった。《警報慣れ》

2. 市の災害への備え

➤ 前提事項の整理

1) 被害予測

ア 千葉県北西部直下地震を想定

県内で人口が集中する県北西部での発生を想定し、震源断層は市川市から千葉市に伸びる形状、破壊開始点は市の東側であり、震度6弱～6強を予測

イ 液状化危険度の予測

東日本大震災における様々な調査により、同じ埋立地内でも地質の違いによって被害が大きく異なることが判明、ボーリングデータ（N値・土質・深さ）に地表水平加速度などにより算定した結果、国道14号以南の埋立地では危険度が「高い」を予測

ウ 建物被害の予測

構造別・耐震設計基準が見直された前と後に区分、計測震度別及び地表最大速度別の全壊・半壊・倒壊率により算定した結果、昭和55年以前の特に木造建物が多く立地する地域と新耐震基準を満たしていない木造建物が集積する地域で危険性が高まると予測

エ 地震火災の予測

火気器具、電気関係といった出火要因別の出火率をもとに木造建物の密集や空地・幅員の広い道路が少ない地域などの状況及び初期消火成功率・消防力により算定した結果昭和55年以前の木造建物の分布地域で出火する可能性が高く、状況により延焼、その延焼火点は、東習志野8丁目・花咲1丁目・鷺沼台3丁目と予測

オ ライフライン被害の予測

上下水道管の種類や地表最大速度と液状化危険度ランクにより算定した結果、管路被害及び電柱等の折損等は、液状化危険度に比例するものと予測

2. 市の災害への備え

➤ 前提事項の整理

2) 避難者の予測：23,357人（発災1日後）

平成26・27年度千葉県地震被害想定調査に基づき、自宅に被害を受け避難する人と自宅の建物自体は被害がないが断水により避難する人

※1 自宅被害＝{(全壊棟数＋半壊棟数×0.13＋焼失棟数) × 1棟の平均人員} × 避難比率

※2 断水被害＝(上水道機能支障人口×ライフライン停止時生活困窮度) × 避難比率

3) 避難者が1日に使用する携帯トイレ及び飲料水の算定基準

① トイレ：1日＝5回/1人 例 23,357人×5回×3日＝350,355回

② 飲料水：1日＝3ℓ/1人 例 23,357人×3ℓ×3日＝210,213ℓ

◆ 仮⇒市民17万6千人×3ℓ×1日＝528,000ℓ

◆ 補足【避難所の数と収容人数】

ア 第1避難所：27箇所（学校等体育館 ⇒22,710人）

イ 補助避難所：33箇所（公民館・コミュニティセンター・保育所等⇒25,610人）

2. 市の災害への備え

➤ 備蓄状況：避難者23,357人（発災1日後）を想定

連番	品目		総数量	何日分	備蓄等場所
1	携帯トイレ		110,700回分	117,450回	各防災倉庫(30箇所)
2	簡易	自動ラッピング式	54基、(6,750回分:1基=125回)	1日分	各避難所(27箇所)
3	トイレ	組み立て便槽式	40基、(大×38基、小×2基)	大1基333回	マンホールトイレ設置以外の学校
4	マンホール トイレ	便槽式	1施設、(198,990ℓ:大×54基)	331,650回	奏の杜
5		下水直結式	4施設、 (小学校3校:10基、第2中学校:5基)		谷津小、津田沼小、 向山小
6	水	ペットボトル	8,528ℓ	188,528ℓ 2.7日分	各防災倉庫(30箇所)
7		耐震性井戸	80,000ℓ(40,000ℓ×2箇所)		奏の杜、秋津
8		耐震性貯水槽	100,000ℓ		奏の杜
9		企業局給水場	25,200ℓ(第2・第3・第4給水場)		藤崎、東習志野、泉町
10	食料	サバイバルフーズ	80,550食(ビスケット)	106,650食 4食分	各防災倉庫(30箇所)
11		アルファ化米	26,100食		
12	簡易ベット		1,287台		旧新栄、なかよし跡地
13	段ボールベット		1,329台		旧新栄
14	発電機		63台(各倉庫にガソリン式とガス式を各1台)		各防災倉庫(30箇所)
15	蓄電池		30台(各避難所にソーラーパネル対応を1台)		各避難所(27箇所)

2. 市の災害への備え

➤ 平常時及び災害時の体制

配備体制	平常時の体制		情報収集体制	警戒配備	災害対策本部		
					第1配備	第2配備	第3配備
気象情報	①早期注意情報	②注意報	③警報		④土砂災害警戒情報	⑤特別警報	
警戒	レベル1	レベル2	レベル3		レベル4	レベル5	
職員配置			◆危機管理課1/2 消防本部・企業局	◆危機管理課全員 消防本部・企業局 ◆都市環境部等 ◆避難所配備職員	◆総務部全員 ◆各部1/3 ◆地区対策支部 ◆出先機関の長	◎第1配備 ＋ ◆各部2/3	◆各部全員
地震			㊦震度4	㊦震度5弱			㊦震度5強
職員配置			◆危機管理課1/2 消防本部・企業局	◆危機管理課全員 消防本部・企業局 ◆各部1/3			◆各部全員
処置事項	●連絡体制の確立 ●資機材の整備 ●マニュアル等の修正	●資機材準備 ●注意喚起発信 ●災害状況確認 ●情報共有	●避難所開設⇒情報発信⇒避難所資機材搬入 ●避難状況の把握⇒気象情報等の伝達 ●市内巡回点検⇒被害への対処 ●避難者ニーズの把握⇒必要な物資の配布				

別添資料「災害発生時の活動及び情報共有や物資配布の流れ」

3. 家庭における備え

➤まずは身の安全！ 次にトイレ、そして水と食料

備える項目	チェック
1. 家庭で備えておくべきもの	
①家の中やその近くで数日過ごすためのモノの備蓄 (南海トラフ地震を考えると1週間分＝物流が途絶える。)	
②家族で防災会議を開催	
◆家の中で安全な場所・外への脱出経路はどこか	
◆消火器具・火気器具などの安全点検	
◆避難場所（避難所）と避難経路の確認	
◆家族の役割分担【独居の方は、近所への支援依頼】	
◆応急手当の知識の習得	
◆万が一の際の家族との連絡方法や集合場所・時間帯の設定	
◆非常持ち出し品の準備と設置場所の確認	
2. 非常時に備えた情報収集項目と入手方法（台風⇒風・雨、地震⇒危険度）	
3. 自宅とその周辺地域の危険度を確認（液状化・洪水・内水・高潮・土砂災害）	
4. 停電への備え（懐中電灯、電池、携帯電話用のバッテリー、ロウソクなど）	
5. 近所付き合いをしておく	
6. ペットに対する備え	

4. 町会等・自主防災組織における備え

➤まず自分自身や家族の安全確保、近所や地域の方々と助け合う

日常から取り組む活動		災害時の活動	
①	地域住民へ正しい防災知識の普及・啓発	①	情報の収集・伝達
②	地域の災害危険度の把握	②	地域住民の避難誘導（要配慮者）
③	個人・家族（自助）への支援	③	火災出火防止や初期消火
④	地域による防災訓練・防災講座の実施	④	負傷者の救出・救護
⑤	防災用資機材の点検・整備	⑤	炊き出し、給食・給水支援

1. 災害時に助けとなる割合（一般的に）
自助＝70%、共助＝20%、公助＝10%

2. 共助の弱点の一つ
「共感が得にくいところは、置き去りにされてしまう可能性があること」

3. 公助と共助との連携の重要性
1) 公助がしっかりとしているからこそ共助が生きてくる。
2) 共助が無くて公助だけでは社会は成り立たない。
※公助とともに共助も充実させる必要あり

5. 情報収集サイトの紹介

1. 習志野市Web版防災ハザードマップ

⇒市が発表する市域の地震に関する震度分布や液状化危険度及び風水害時の浸水や土砂災害に関する防災情報

URL: <https://www.city.narashino.lg.jp/section/hazardmap/>



2. 気象庁ホームページ

⇒政府が発表する市町村別の天気予報や台風などの防災情報

URL: <https://www.jma.go.jp/bosai/#areacode=1221600>



3. Windy (ウインディ)

⇒世界的中率が高いとされるヨーロッパの天気予報等、世界中の公開データを基に、風や雲をはじめあらゆる大気の情報などをアニメーションで表示

URL: <https://www.windy.com/35.671/140.019?gust,35.662>



4. 川の水位情報

⇒政府が発表する市町村に存在する河川の水位や降雨の情報など、水災害に関する防災情報

URL: <https://x.gd/GS2Cv>



質 疑 応 答

ご清聴ありがとうございました。

今後とも ご理解ご協力をよろしくお願いします。

